

平成28年度(27年度実施分)事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成28年10月31日

1 事務事業の現状(DOC)	事務事業名	No. 570101	勤労青少年ホーム講座・交流活動事業				主管課名	生涯学習課			
	この事務事業の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	山崎 正勝			
		施策	生きがいを持って楽しく暮らせるまち								
		基本事業	生涯学習講座の充実								
	(1)事業の概要										
	勤労青少年及び勤労者の交流を目的として若者や勤労者に関心の高い教養講座とスポーツ講座を開催する。 ・平成27年度の実績は、14講座(101回)受講者数160人(延べ962人) ・教養講座(春夏4講座、秋冬4講座、新春4講座、延べ12講座) ・スポーツ講座(春夏1講座、秋冬0講座、新春1講座、延べ2講座)					(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
	勤労青少年ホーム利用者の交流と学習成果発表の機会を支援する。 ・利用者の生涯学習発表会参加への支援					名称		単位			
						講座数		講座			
						講座受講者数		人			
						クラブ活動日数		日			
					その指標						
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		講座内容企画 講師依頼 広報 募集受付 抽選 受講者決定 受講料納入 講座開講準備 講座運営 調査分析(アンケート) 反省									
28年度計画	前年と同様変更あり	変更内容	平成28年度から「みよし悠学カレッジ講座運営事業(5701014)」へ統合								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
市内在住・在勤の勤労者(15歳から60歳まで)					名称		単位				
					市内在住・在勤の勤労者数		人				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)					(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
生涯にわたって学習する意欲を持ち取り組んでもらう講座の存在を知り、参加する					名称		単位				
					勤労青少年ホーム講座申込者数		人				
					講座に初めて参加した人数		人				
(4)結果(上位基本事業の意図)					(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
学習意欲を持ち、講座に参加してもらう					名称		単位				
					生涯学習講座受講者		人				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値			
(5)の活動指標		講座	11	14							
		人	129	160							
		日	212	221							
(6)の対象指標		人	37,426	37,305							
(7)の成果指標		人	114	168							
		人	61	38							
(8)の結果の成果指標		人	5,082	5,418							
(10)予算費目											
会計		01 一般会計				款	05	項	01	目	02
(11)コスト											
事業費(決算又は予算額)		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値			
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円	1,035	1,089	0	0	0	0		
		一般財源	千円	374	430	0	0	0	0		
		人件費B	千円	3,100	3,419	0	0	0	0		
正職員従事時間×人数		時間×人	210×4	210×4	×	×	×	×			
正職員以外の人件費		千円	215	290							
その他費用C		千円	28	109							
トータルコストA+B+C		千円	4,537	5,047	0	0	0	0			
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/人	0	0							
		千円/									
		千円/									

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 570101 勤労青少年ホーム講座・交流活動事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和44年4月 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ ・勤労青少年の趣味や趣向の多様化による利用減少 ・勤労青少年の利用の減少と勤労青少年以外(35歳以上)の利用の増大
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 勤労青少年ホーム開館により開始	・平成27年度の県内の勤労青少年ホームの設置状況 9市(10館) 春日井、豊田、稲沢(2)、豊橋、 瀬戸、犬山、新城、高浜、みよし (岡崎、蒲郡が23年、尾張旭が24で廃止)
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化し当初は交流の場としての機能を果たしていた 変化している 内容が、最近の青少年の利用が減っている。	・平成28年7月1日で、みよし市も勤労青少年ホームを廃止する

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 →	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
		自治事務 →	根拠法令	みよし市立勤労青少年ホーム設置条例	
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく →	理由	この事務を行う根拠又は理由	勤労青少年の健全な育成と福祉の増進に寄与する。
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 → できない → 縮小 →	内容		勤労青少年ホームの閉館に伴い、勤労青少年優先の勤労青少年ホーム講座から悠学カレッジの勤労者向け講座として実施。
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 → できない → 拡充 → 絞込み →	内容		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい → 多少影響がある → 影響はない →	理由又は内容		勤労青少年ホームの閉館に伴い、平成28年度から、みよし悠学カレッジの勤労者向け講座として開催するため
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない →	理由又は内容		平成22年度に対象を勤労青少年(15歳～35歳)から勤労者(15歳～60歳)に見直し、成果指標を大幅に向上させたため。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある → 庁内事業 → ない → 庁外事業 →	類似事業名	570104 みよし悠学カレッジ講座運営事業	
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない →	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない →	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 → ない → 検討が必要 → 受益者がいない →	内容		
	(7)類似又は関連する事業はありますか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある → ない →	類似事業との再編の可能性	ある → 内容 ない	平成28年度に複合施設に機能移転し、みよし悠学カレッジ講座運営事業の勤労者向け講座として実施する

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	未評価年度	事業費の方向性	未評価年度	成果の方向性	未評価年度
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	勤労青少年ホームの閉館に伴い、平成28年7月図書館学習交流プラザに機能移転し、みよし悠学カレッジ講座運営事業の勤労者向け講座として実施する。					

平成28年度(27年度実施分)事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成28年10月31日

1 事務事業の現状(DO)	事務事業名	No. 570102	勤労青少年ホーム施設管理事業				主管課名	生涯学習課			
	この事務事業の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	山崎 正勝			
		施策	生きがいを持って楽しく暮らせるまち								
		基本事業	生涯学習講座の充実								
	(1)事業の概要										
	・勤労青少年ホーム全体の施設維持管理費。 ・集会室、和室、実習室、娯楽室、軽運動室、事務室等の施設維持管理費。					(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
						名 称		単 位			
						勤労青少年ホーム開設日数		日			
						保守点検委託数		件			
						年間修理金額		円			
					その指標						
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)											
臨時的非常勤職員2人が勤労青少年ホームに勤務し、申請の受付から施設の貸し出し、利用者への案内、施設の日常清掃や蛍光灯の交換等の簡易な修繕を実施。また、業務委託等の立会いも実施。											
28年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容		図書館学習交流プラザが平成28年7月2日に開館することに伴い、勤労青少年ホームを同日閉館する。					
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
勤労青少年ホーム					名 称		単 位				
					勤労青少年ホーム施設面積		㎡				
					その指標						
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)					(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
勤労青少年ホームを快適・安全に利用してもらう					名 称		単 位				
					年間利用者数		人				
					利用団体		団体				
					その指標						
(4)結果(上位基本事業の意図)					(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
学習意欲を持ち講座に参加してもらう					名 称		単 位				
					生涯学習講座受講者		人				
					その指標						
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値			
(5)の活動指標		日	297	299	74						
		件	3	3	2						
		円	92,880	197,640	0						
(6)の対象指標		㎡	747	747	747						
(7)の成果指標		人	8,069	7,687	1,383						
		団体	17	15	15						
(8)の結果の成果指標		人	5,082	5,418	5,520						
(10)予算費目											
会計		01 一般会計				款	05	項	01	目	02
(11)コスト											
事業費(決算又は予算額)		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	550	523	84	0	0	0			
	一般財源	千円	1,859	1,537	1,089	0	0	0			
	人件費B	千円	8,443	7,712	2,192	0	0	0			
正職員従事時間×人数		時間×人	215×4	215×4	55×4	×	×	×			
正職員以外の人件費		千円	5,489	4,509	1,372						
その他費用C		千円	0	0							
トータルコストA+B+C		千円	10,852	9,772	3,365	0	0	0			
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/㎡	15	13	5						
		千円/									
		千円/									

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 570102 勤労青少年ホーム施設管理事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和44年4月 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 勤労青少年ホーム開館により開始した	・平成18年度に行った耐震診断では「勤労青少年ホームは補強工事の必要なし」という結果がでた。しかし、施設自体は老朽化しており、雨漏りや水道の漏水などの修繕と、軽運動室に空調設備が無いなど追加の設備工事が必要なことが課題。
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している → 変化した内容 施設の老朽化で修繕費がかかる	・平成28年度に勤労青少年ホームを閉館後、改修工事を実施し、平成29年度よりみよし市教育センターとして使用する予定

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 → 自治事務 →	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	みよし市立勤労青少年ホーム設置条例 勤労青少年の健全な育成と福祉の増進に寄与する。
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく → 結びつかない →	理由	
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 → できない → 縮小 →	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 → できない → 拡充 → 絞込み →	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい → 多少影響がある → 影響はない →	理由又は内容	勤労青少年ホームの閉館に伴い、図書館学習交流プラザを開館するため。
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない →	理由又は内容	軽運動室の利用の増加により利用者が増加したが、軽運動室の空きが無いため、これ以上の利用者を増加させることは難しい。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある → 庁内事業 → ない → 庁外事業 →	類似事業名 類似事業との再編の可能性	570208 ふれあい交流館事業 ある → 内容 ない → 管理を一元化する
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない →	内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない →	内容	
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 → ない → 検討が必要 → 受益者がいない →	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	削減	事業費の方向性	減額	成果の方向性	維持
		平成28年7月に図書館学習交流プラザの開館に伴い、勤労青少年ホームを閉館する					

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現 状 (D O)	事務事業名	No. 570104	みよし悠学カレッジ講座運営事業				主管課名	生涯学習課				
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	山崎 正勝				
		施策	生きがいを持って楽しく暮らせるまち									
	基本事業	生涯学習講座の充実										
(1)事業の概要												
平成11年9月に「みよし悠学カレッジ」を開講し、平成14年に現在の「学習交流センター」を拠点として事業を開始した。多様化する住民ニーズや社会情勢の変化に対応した講座の計画と受講機会の幅を広げていく。 開催講座 公開講座 平成25年度から高齢者教室開催事業における一部講座をみよし悠学カレッジ講座運営事業と統合し、高齢者優先講座として開講した。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名 称		単 位				
						講座数		講座				
						講座受講者数		人				
						その指標						
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		講座内容企画	講師依頼	広報	募集受付	抽選	受講者決定	受講料納入	講座開講準備	講座運営	調査分	
		析(アンケート)	反省									
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容	拠点を平成28年7月2日開館の図書館学習交流プラザ(サンライブ)に移し、開講する。									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
義務教育終了の市内在住者 (市内)在勤・在学者						名 称		単 位				
						市内15歳以上の人口		人				
						市内への在勤・在学者数(国調流入人口)		人				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
生涯にわたって学習する意欲を持ち、日常生活で取り組んでもらう 講座の存在を知り、参加する						名 称		単 位				
						講座申込者		人				
						講座に初めて参加した人数		人				
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
学習意欲を持ち講座へ参加してもらう						名 称		単 位				
						生涯学習講座受講者		人				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
(5)の 活動指標		講座	141	149	167	185	200	200				
		人	2,235	2,292	3,450	4,000	4,500	4,500				
(6)の 対象指標		人	49,436	50,125	50,571	51,043	51,454	51,945				
		人	21,826	21,826	21,826	21,826	21,826	21,826				
(7)の 成果指標		人	3,074	3,075	4,400	4,900	5,300	5,300				
		人	212	220	240	244	250	250				
(8)の結果の 成果指標		人	5,082	5,418	6,350	6,690	7,000	7,000				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	09
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	15,875	15,626	18,576	27,023	21,365	21,365				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	8,737	8,653	10,638	12,421	12,502	12,502				
	一般財源	千円	7,138	6,973	7,938	14,602	8,863	8,863				
人件費 B		千円	22,168	22,941	22,941	22,941	22,941	22,941				
正職員従事時間×人数		時間×人	645×4	645×4	645×4	645×4	645×4	645×4				
正職員以外の人件費		千円	13,308	13,333	13,333	13,333	13,333	13,333				
その他費用 C		千円	307	304	304	304	304	304				
トータルコストA+B+C		千円	38,350	38,871	41,821	50,268	44,610	44,610				
単位あたりコスト		千円/人	1	1	1	1	1	1				
(トータルコスト /(6)の対象指標)		千円/人	2	2	2	2	2	2				

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	570104	みよし悠学カレッジ講座運営事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	平成11年度			から
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			みよしの生涯学習事業として、平成11年度から悠学カレッジ講座を実施している。平成28年7月2日に閉館する図書館学習交流プラザに拠点を移し、閉館時間に合わせて新たな講座を開催していく。
市民の生涯学習への意欲の高まりに応えるため				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない				
変化している				
変化し内容(平成19年度から)				
変化し主管が教育委員会から市長部局へ変更された内容(平成19年度から)				

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	
			自治事務	→	根拠法令	なし
					この事務を行う根拠又は理由	みよし悠学カレッジ運営要綱 生涯学習推進基本計画に基づき実施する
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由	
			結びつかない	→		
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容	
			できない	→		
				拡大		
				縮小		
		追加				
		拡充				
		絞込み				
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい		理由又は内容		
		多少影響がある	→			
		影響はない	→			
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	今の成果水準を維持していく。	
	できない	→				
	1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？					
効率性	(7)類似又は関連する事業はありませんか？また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	→	類似事業名	勤労青少年ホーム講座・交流活動事業、読書啓発事業等	
		ない	→	類似事業との再編の可能性	ある	
					ない	
					内容	生涯学習講座の一元化
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容		
	ない	→				
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容		
	ない	→				
公平性	(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容		
		ない	→			
		現状で適正				
		検討が必要	→			
		受益者がいない				

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	増加	事業費の方向性	増額	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	平成28年7月2日開館の図書館学習交流プラザへ拠点を移し 570101勤労青少年ホーム講座・交流活動事業における講座を統合する。					

平成28年度(27年度実施分)事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成28年10月31日

1 事務事業の現状(DO)	事務事業名	No. 570106	学習交流センター管理事業				主管課名	協働推進課		
	この事務事業の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	村田信光		
		施策	生きがいを持って楽しく暮らせるまち							
		基本事業	生涯学習講座の充実							
	(1)事業の概要									
	学習交流センター 事務室、講義室4、託児室、県保健所、市民活動サポートセンター、 多文化共生センター、相談室、多目的研修室、会議室2、教育支援セ ンター(教育サポート室、ふれあい教室、教育相談室) 生涯学習部門については、平成28年度中に複合施設へ移転 環境・防災管理センター 環境事務室、道路公園管理室、防災備蓄庫、閉架書庫、レセプト倉 庫等 管理は、環境課、道路河川課、公園緑地課、防災安全課、生涯学 習推進課、保険年金課						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) …数値は(9)			
							名称	単位		
							学習交流センター開館日数	日		
							施設修繕に係る年間経費	千円		
							その指標			
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		学習交流センター及び環境・防災管理センターの一部の維持管理と設備保守、施設修繕等を実施。								
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) …数値は(9)				
学習交流センター						名称	単位			
						施設面積	㎡			
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) …数値は(9)				
利用者に快適・安全に利用してもらう						名称	単位			
						センター年間利用者数	人			
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) …数値は(9)				
学習意欲を持ち講座や市民活動サポートセンターの活動に参加してもらう						名称	単位			
						市民活動サポートセンターや講座の利用者数	人			
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標										
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値		
(5)の活動指標		日	294	293	293	293	293	293	293	
		千円	655	467	593	600	600	600	600	
(6)の対象指標		㎡	1,669	1,669	1,669	1,669	1,669	1,669	1,669	
(7)の成果指標		人	19,000	20,074	8,000	6,000	6,000	6,000	6,000	
(8)の結果の成果指標		人	8,770	7,521	6,000	1,300	1,300	1,300	1,300	
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05 目 09
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値		
事業費(決算又は予算額)		単位	19,653	18,034	15,531	16,662	15,252	15,252		
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	19,653	18,034	15,531	16,662	15,252	15,252		
人件費B		千円	4,244	4,599	2,498	2,498	2,498	2,498		
正職員従事時間×人数		時間×人	306×4	306×4	220×3	220×3	220×3	220×3		
正職員以外の人件費		千円	40	40	40	40	40	40		
その他費用C		千円	134							
トータルコストA+B+C		千円	24,031	22,633	18,029	19,160	17,750	17,750		
単位あたりコスト		千円/㎡	14	14	11	11	11	11		
(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/								
		千円/								

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 570106 学習交流センター管理事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	平成14年9月 から	昭和49年に建築された旧三好病院を改修した施設であり、旧設備を再利用しているため、経年に伴い修繕費の増大が見込まれる。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
旧三好病院移転に伴う跡地の有効利用と生涯学習の拠点作りを目的に教育学習センター(現学習交流センター)を開設したことにより開始。		
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	変化していない	変化し 主管が教育委員会から市長部局へ変更された内容(平成19年度から)

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
		自治事務	根拠法令	みよし市庁舎管理規則		
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由	この事務を行う根拠又は理由	(目的)第1条より
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容	
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容	
	有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない	理由又は内容		
		(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない	理由又は内容	センター利用者数は、建物を維持管理するための利用規模の参考であり、利用者数の増加を目的としたものではないため。	
		(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名	施設の管理事業
		(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない	内容	施設管理業務を一括で契約できれば、コスト及び事業費の削減につながる	
		(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない	内容	施設管理業務を一括で契約できれば、人件費の削減につながる	
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要	内容		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現 状 (D O)	事務事業名	No. 570201	明越会館管理運営事業				主管課名	協働推進課			
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	村田信光			
		施策	生きがいを持って楽しく暮らせるまち								
		基本事業	生涯学習自主活動の拡大								
(1)事業の概要											
明越会館は、昭和56年4月に開館し地域住民の文化活動、相互のふれあい、憩いの場、コミュニティの場、気軽に利用できる施設や利用者が快適で安心できる施設として、適正かつ効率的な管理運営をしている。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
						名 称		単 位			
						開館日数		日			
						明越会館延床面積		㎡			
						その指標					
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		シルバー人材センターに受付・管理の一部を委託、自動火災報知設備の保守、清掃業務の委託を実施した。									
28年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容							
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)					
市民						名 称		単 位			
						人口		人			
						その指標					
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)					
快適かつ安全に利用してもらう						名 称		単 位			
						事故件数		件			
						その指標					
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)					
明越会館利用者						名 称		単 位			
						利用者数		人			
						その指標					
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値			
(5)の活動指標		日	304	307	306	306	306	307			
		㎡	376	376	376	376	376	376			
(6)の対象指標		人	59,885	60,365	60,710	61,056	61,401	61,744			
(7)の成果指標		件	0	0	0	0	0	0			
(8)の結果の成果指標		人	55	4,499	4,500	4,500	4,500	4,500			
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	02	項	01	目 15
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単位	1,722	1,879	2,550	2,550	2,550	2,570			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	190	202	184	190	190	190	190		
	一般財源	千円	1,532	1,677	2,366	2,360	2,360	2,380			
人件費B		千円	5,129	4,102	4,802	4,802	4,802	4,802			
正職員従事時間×人数		時間×人	104×4	109×2	203×2	203×2	203×2	203×2			
正職員以外の人件費		千円	3,700	3,290	3,290	3,290	3,290	3,290			
その他費用C		千円	0	0							
トータルコストA+B+C		千円	6,851	5,981	7,352	7,352	7,352	7,372			
単位あたりコスト		千円/人	0	0	0	0	0	0			
(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/									
		千円/									

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 570201 明越会館管理運営事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和56年 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ 明越会館は、地域住民に広く利用されている文化活動等の施設であり、利用者が快適で安心して利用できるよう、施設や備品等にも配慮し適正な管理運営を図る必要がある。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 昭和56年に施設が愛知県からみよし市に移管されたため。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している → 変化した内容	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 → 自治事務 →	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 三好文化広場の設置及び管理に関する条例 この事務を行う根拠又は理由 地域住民の文化・ふれあい活動の地区拠点施設として必要なため。
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく → 結びつかない →	理由
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 → できない → 縮小 →	内容
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 → できない → 拡充 → 絞込み →	内容
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい → 多少影響がある → 影響はない →	理由又は内容
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない →	理由又は内容 大規模改修を行う必要がある。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある → 庁内事業 → ない → 庁外事業 →	類似事業名 三好丘交流センター、ふれあい交流館、カリヨンハウス 類似事業との再編の可能性 あり → 内容 ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない →	内容
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない →	内容
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 → ない → 検討が必要 → 受益者がいない	内容

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 570202	地区公民館運営費補助事業				主管課名	教育行政課				
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	深谷 正浩				
		施策	生きがいを持って楽しく暮らせるまち									
		基本事業	生涯学習自主活動の拡大									
	(1)事業の概要											
	現在、みよし市立公民館の設置及び管理に関する条例で9つの地区公民館が設置されている。(平成27年度中に福谷公民館は取り壊しを行い、集会所とする)公民館の運営・管理に関わる経費の一部を補助金として交付している。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
							名 称		単 位			
							地区公民館数		館			
							その指標					
	(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		地区の協力のもとに行われる施設の管理運営に対する支援の継続が必要であり、地区公民館運営補助金(9館)の交付をした。補助金交付申請(行政区) 補助金交付決定 実績報告書提出(行政区) 運営費補助金支払									
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容	福谷公民館が廃館となり、平成28年度からは8館での運営となる。									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
地区公民館設置行政区 区民						名 称		単 位				
						地区公民館設置行政区数		区				
						人口		人				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
生涯学習の場として公民館を有効に活用する 公民館で活発に生涯学習活動をしてもらう						名 称		単 位				
						公民館主催事業数		件				
						公民館利用人数		人				
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
自主的な生涯学習活動の推進を図る						名 称		単 位				
						生涯学習に満足している人の割合		%				
						生涯学習施設利用者		人				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
(5)の 活動指標		館	9	9	8	8	8	8				
(6)の 対象指標		区	9	9	8	8	8	8				
		人	59,474	59,885	60,365	60,710	61,056	61,401				
(7)の 成果指標		件	320	328	290	290	290	290				
		人	57,000	73,595	71,800	71,800	71,800	71,800				
(8)の結果の 成果指標		%	54.9	55.2	55.6	55.7	55.8	55.9				
		人	126,300	156,594	237,383	292,700	301,700	301,700				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	03
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	1,440	1,440	1,280	1,280	1,280	1,280				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	1,440	1,440	1,280	1,280	1,280	1,280	1,280			
人件費B		千円	207	224	224	224	224	224				
正職員従事時間×人数		時間×人	60×1	60×1	60×1	60×1	60×1	60×1				
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0				
その他費用C		千円	43	43	43	43	43	43				
トータルコストA+B+C		千円	1,690	1,707	1,547	1,547	1,547	1,547				
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)	千円/ 区	188	190	193	193	193	193	193				
	千円/ 人	0	0	0	0	0	0	0				
	千円/											

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 570202 地区公民館運営費補助事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	平成11年4月 から	施設の運営管理の明確化が必要。(条例では中央公民館の利用料金の設定がされているが、地区公民館の利用料金の設定が明記されていない等の指摘もある)
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
教育、学術、文化に関する各種の事業を行い、住民の教養の向上、健康の推進、情報の純化を図るための地区公民館施設の適切な管理運営を行うため。		
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	変化していない	変化している

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
		自治事務	根拠法令	地区公民館運営事業補助金交付要綱		
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく	理由	この事務を行う根拠又は理由	地域住民の文化・芸術活動拠点として必要なため
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	拡大	内容	
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	追加	内容	
		(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい	理由又は内容		
		(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる	理由又は内容	運営管理等を指定管理者制度の導入、あるいは地域に払い下げし、地区に根ざした公民館運営により成果向上が期待できる。	
		(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある	類似事業名	類似事業との再編の可能性	ある
		(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	内容		
		(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	内容		
有効性	公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	現状で適正	内容	
		ない	検討が必要	内容		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等 の見直しなど	平成28年度から福谷公民館が廃止となり、9つの地区公民館が8館になる。					

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 570203 地区公民館修繕等事業					主管課名	教育行政課										
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし					課長名	深谷 正浩									
		施策	生きがいを持って楽しく暮らせるまち															
		基本事業	生涯学習自主活動の拡大															
(1) 事業の概要																		
みよし市立公民館の設置及び管理に関する条例で9つの地区公民館が設置されている。必要なことに対する補助金を公民館利用の観点から周辺をも含めた施設環境の修繕のための補助金を交付している。補助金は必要額から10,000円を引いた額の9割(130,000円限度)						(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)												
						<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>修繕した地区公民館数</td> <td>館</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>					名 称	単 位	修繕した地区公民館数	館				
						名 称	単 位											
修繕した地区公民館数	館																	
昭和56年以前に建築された公民館5館について、耐震診断、耐震工事を計画的に実施する公民館 昭和56年以前建築の公民館 三好下、明知下、福谷、高嶺、筋生公民館						その指標												
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		地区の申請に基づき、地区公民館緊急修繕費補助金ならびに地区公民館修繕費補助金を交付し、各公民館施設の修繕を行っている。 補助金交付申請(行政区) 交付決定 実績報告(行政区) 補助金支払い																
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容	福谷公民館が廃館となり、平成28年度からは8館での運営となる。															
(2) 対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)												
地区公民館設置行政区 市民						<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>地区公民館設置行政区</td> <td>区</td> </tr> <tr> <td>人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>					名 称	単 位	地区公民館設置行政区	区	人口	人		
						名 称	単 位											
						地区公民館設置行政区	区											
人口	人																	
						その指標												
						(3) 意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか) 公民館施設の適切な維持管理に努める						(7) 成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
						<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>地区公民館利用者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>施設修繕補助箇所数</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>					名 称	単 位	地区公民館利用者数	人	施設修繕補助箇所数	箇所		
						名 称	単 位											
						地区公民館利用者数	人											
施設修繕補助箇所数	箇所																	
						その指標												
						(4) 結果(上位基本事業の意図) 自主的な生涯学習活動の推進を図る						(8) 結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
						<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>生涯学習に満足している人の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>生涯学習施設利用者</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>					名 称	単 位	生涯学習に満足している人の割合	%	生涯学習施設利用者	人		
						名 称	単 位											
						生涯学習に満足している人の割合	%											
生涯学習施設利用者	人																	
						その指標												
						(9) 事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値										
(5)の 活動指標		館	9	8	8	8	8	8										
(6)の 対象指標		区	9	9	8	8	8	8										
		人	59,474	59,885	60,365	60,710	61,056	61,401										
(7)の 成果指標		人	45,000	73,595	45,000	45,000	45,000	45,000										
		箇所	9	9	8	8	8	8										
(8)の結果の 成果指標		%	54.9	55.2	55.6	55.7	55.8	55.9										
		人	126,300	156,594	237,383	292,700	301,700	301,700										
(10) 予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	03						
(11) コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値										
事業費(決算又は予算額)		単位	5,595	23,166	11,362	2,369	5,025	1,340										
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0										
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0										
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0										
	その他	千円	0	0	0	0	0	0										
	一般財源	千円	5,595	23,166	11,362	2,369	5,025	1,340										
人件費 B		千円	378	410	410	410	410	410										
正職員従事時間×人数		時間×人	55×2	55×2	55×2	55×2	55×2	55×2										
正職員以外の人件費		千円																
その他費用 C		千円	43	43	43	43	43	43										
トータルコスト A+B+C		千円	6,016	23,619	11,815	2,822	5,478	1,793										
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)	千円/ 区	668	2,624	1,477	353	685	224											
	千円/ 人	0	0	0	0	0	0											
	千円/																	

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 570203 地区公民館修繕等事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 平成11年4月 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ 地区公民館は建設後、長期間が経過し、施設が老朽化しているため、管理をしている行政区長から修繕の要望が多くある。そのため、計画的に耐震改修及び修繕工事を行っていく必要がある。福谷公民館は平成27年度に解体し、集会所を建設する。(行政区要望)
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 住民が教育、学術、文化に関する各種の事業を行う施設であり、安全・安心に利用できるようにするため。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	地区公民館修繕事業補助金交付要綱 施設を快適な環境で維持するため。		
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由			
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由 又は 内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由 又は 内容	施設の老朽化への対応、施設維持のためには最低限の費用は必要であるため。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある ない	内容
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない		内容		
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要	内容		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	削減	事業費の方向性	減額	成果の方向性	維持

平成28年度(27年度実施分)事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成28年10月31日

1 事務事業の現状(DOC)	事務事業名	No. 570204	地区文化活動推進補助事業				主管課名	教育行政課				
	この事務事業の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	深谷 正浩				
		施策	生きがいを持って楽しく暮らせるまち									
		基本事業	生涯学習自主活動の拡大									
(1)事業の概要												
各行政区で実施される文化事業に補助金を交付し、文化的レベルの底上げを図り、区民の芸術文化の振興を図る。行政区に限らず、コミュニティの推進としてコミュニティ推進協議会の申請も可能とする。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名 称		単 位				
						行政区文化活動開催日数		日				
						その指標						
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		各行政区が開催する展示発表会、芸能発表会の文化事業に対して、事業に要する経費のうち会議費、事業費、事務費等の文化事業開催補助金として20行政区に支援した実績報告(行政区) 補助金支払い(市)										
28年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
行政区 市民						名 称		単 位				
						行政区数		行政区				
						人口		人				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
区民の文化及び芸術に対する意識の高揚を図る						名 称		単 位				
						文化事業を実施した行政区数		行政区				
						文化事業に作品を出した人数		人				
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
自主的な生涯学習活動の推進を図る。						名 称		単 位				
						生涯学習に満足している人の割合		%				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
(5)の活動指標		日	35	26	30	30	30	30				
	(6)の対象指標	行政区	25	25	25	25	25	25				
人		59,885	59,885	60,365	60,710	61,056	61,401					
(7)の成果指標	行政区	19	18	25	25	25	25					
	人	3,552	2,791	4,000	4,000	4,000	4,000					
(8)の結果の成果指標		%	55.4	55.2	55.6	55.7	55.8	55.9				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	03
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	756	711	1,000	1,000	1,000	1,000				
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0				
		県支出金	千円	0	0	0	0	0				
		地方債	千円	0	0	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0	0	0				
		一般財源	千円	756	711	1,000	1,000	1,000	1,000			
人件費B		千円	155	168	168	168	168	168				
正職員従事時間×人数		時間×人	45×1	45×1	45×1	45×1	45×1	45×1				
正職員以外の人件費		千円										
その他費用C		千円	22	22	22	22	22	22				
トータルコストA+B+C		千円	933	901	1,190	1,190	1,190	1,190				
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)		千円/行政区	37	36	48	48	48	48				
		千円/人	0	0	0	0	0	0				
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 570204 地区文化活動推進補助事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 平成13年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ 近年、文化祭を実施しない行政区が増加している（平成20年度2行政区、平成21年度3行政区、平成22年度4行政区、平成23年度以降5行政区が実施していない）
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 教育、学術、文化に関する各種の事業を行い、住民の教養の向上、健康の増進、情報の純化を図るため	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している	

3 評価（SEE） 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	行政区文化活動推進事業補助金交付要綱 各行政区で開催する文化・芸術活動への支援をし、住民の文化意識の高揚を図ることは市の役割であるため		
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由			
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充（意図の段階は正しいか）又は絞込み）はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由 又は 内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由 又は 内容	各行政区の文化・芸術レベルの底上げをするには必要であるため。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある ない	内容
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？（仕様や工法の変更、住民の協力など）	ある ない		内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？（従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？）	ある ない		内容		
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要 受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 570206	生涯学習発表会開催事業				主管課名	生涯学習課			
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	山崎 正勝			
		施策	生きがいを持って楽しく暮らせるまち								
		基本事業	生涯学習自主活動の拡大								
	(1)事業の概要										
	市内を中心に生涯学習活動を展開する生涯活動団体を対象とし、年1回、日頃の学習活動の成果を発表する機会を提供し、学習者の学習意欲の高まりと生涯学習活動の広まりを促進する。 ・開催時期 2~3月の土・日2日間 ・開催場所 文化センターサザンアート ・内容 芸能発表、作品展示、お茶会					(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
						名 称		単位			
						開催日数		日			
						その指標					
	(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	生涯学習団体登録受付 生涯学習活動登録団体及びふれあい交流館クラブ登録団体へ出演・出展希望調査 出演・出展団体担当者会議 会場設置委託業務の発注 芸能発表リハーサル 作品展示・お茶会会場設置 展示作品搬入 生涯学習発表会開催 展示作品搬出 会場撤去									
28年度計画	前年と同様 変更あり		変更内容								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
ふれあい交流館クラブ・生涯学習活動登録団体					名 称		単位				
					ふれあい交流館クラブ数		団体				
					生涯学習活動登録団体数		団体				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)					(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
生涯学習活動の発表の場を提供する					名 称		単位				
					出演、出品者数		人				
					出演団体数		団体				
					来客者数		人				
(4)結果(上位基本事業の意図)					(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
自主的な生涯学習活動の推進を図る					名 称		単位				
					生涯学習に満足している人の割合		%				
					生涯学習施設利用者		人				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値			
(5)の活動指標		日	2	2	2	2	2	2			
(6)の対象指標		団体	42	46							
		団体	21	20	70	70	70	70			
(7)の成果指標		人	504	542	540	540	540	540			
		団体	39	41	41	41	41	41			
		人	2,505	2,708	2,500	2,500	2,500	2,500			
(8)の結果の成果指標		%	55.4	55.2	55.3	55.7	56.1	56.6			
		人	128,572	156,594	237,383	292,700	301,700	301,700			
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	10	項	05	目	09
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単位	581	572	651	651	659	665			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	581	572	651	651	659	665			
人件費B		千円	3,284	3,081	3,533	3,533	3,533	3,533			
正職員従事時間×人数		時間×人	215×4	190×4	215×4	215×4	215×4	215×4			
正職員以外の人件費		千円	330	250	330	330	330	330			
その他費用C		千円	138	270	138	138	138	138			
トータルコストA+B+C		千円	4,003	3,923	4,322	4,322	4,330	4,336			
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)		千円/ 団体	95	85							
		千円/ 団体	191	196	62	62	62	62			
		千円/									

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 570206生涯学習発表会開催事業		
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 平成6年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？	
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 生涯学習登録団体から活動を発表する機会を設けてほしいとの要望に 応えるため	生涯学習発表会の芸能発表への出演要望団体数が増加しているため、 出演団体数を精査するなどの検討が必要となっている。また、作品 展示への出展団体が増加した場合には、展示作品の途中入れ替え などが必要となる。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している 変化している → 活動団体が増加		

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 → 自治事務 →	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 なし この事務を行う根拠又は理由 生涯学習推進基本計画に基づき実施する
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく → 結びつかない →	理由
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 → できない → 縮小 →	内容
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 → できない → 拡充 → 絞込み →	内容
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい → 多少影響がある → 影響はない →	理由又は内容
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない →	理由又は内容 ただし、芸能発表の時間と展示発表の場所に限りがある
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある → 庁内事業 → ない → 庁外事業 →	類似事業名 春の文化展、秋の文化祭 類似事業との再編の可能性 ある → 内容 ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない →	内容
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない →	内容
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 → ない → 検討が必要 → 受益者がいない →	内容

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 570207	生涯学習活動事業				主管課名	生涯学習課			
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	山崎 正勝			
		施策	生きがいを持って楽しく暮らせるまち								
		基本事業	生涯学習自主活動の拡大								
(1)事業の概要											
平成28年度から、生涯学習推進事業補助金として、生涯学習活動を積極的に推進する団体又は新たに生涯学習活動を開始する団体に学習の活動に要する費用を補助することとし、対象を地区及び生涯学習推進課活動団体へ拡大した。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) …数値は(9)					
						名 称		単 位			
						推進員人数		人			
						補助金交付金額		円			
						その指標					
(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		生涯学習活動地区推進員が企画する生涯学習講座に補助金を交付。講座終了後に実績報告書を提出。平成27年度 10行政区10講座が開催された									
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容	平成28年度から、生涯学習推進事業補助金として、生涯学習活動を積極的に推進する団体又は新たに生涯学習活動を開始する団体に補助する。								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) …数値は(9)					
市内在住の人						名 称		単 位			
						市内在住者(人口)		人			
						行政区数		行政区			
						その指標					
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) …数値は(9)					
生活に充実感を味わう。						名 称		単 位			
						受講者数		人			
						開催した講座数		講座			
						事業を実施した行政区数		行政区			
						その指標					
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) …数値は(9)					
自主的な生涯学習活動の推進を図る。						名 称		単 位			
						生涯学習に満足している人の割合		%			
						生涯学習施設利用者		人			
						その指標					
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値			
(5)の活動指標		人	25	25	0	0	0				
		円	311,700	331,930	1,012,500	1,012,500	1,012,500	1,012,500			
(6)の対象指標		人	59,885	60,365	60,710	61,056	61,401	61,744			
		行政区	25	25	25	25	25	25			
(7)の成果指標		人	214	273	500	500	500	500			
		講座	10	10	30	30	30	30			
		行政区	10	25	25	25	25	25			
(8)の結果の成果指標		%	55.4	55.2	55.3	55.7	56.1	56.6			
		人	128,572	156,594	237,383	292,700	301,700	301,700			
(10)予算費目											
会計		01 一般会計				款	10	項	05	目	09
(11)コスト											
事業費(決算又は予算額)		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	412	471	1,013	1,013	1,013	1,013			
	人件費B	千円	3,847	4,171	4,171	4,171	4,171	4,171			
正職員従事時間×人数		時間×人	280×4	280×4	280×4	280×4	280×4	280×4			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0			
その他費用C		千円	8	9	10	10	10	10			
トータルコストA+B+C		千円	4,267	4,651	5,194	5,194	5,194	5,194			
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)		千円/人	0	0	0	0	0	0			
		千円/行政区	171	186	208	208	208	208			
		千円/									

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 570207 生涯学習活動事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	昭和46年 から	新たに生涯学習活動を推進する団体の発掘や、団体への啓発の方法を研究する。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
社会教育法（第5章公民館）第22条第1号に「定期講座を開催すること」と規定されているため		
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？		
変化していない	変化し	主管が教育委員会部局に平成28年度から変更された

3 評価（SEE）	目的 妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する		
		自治事務	根拠法令	なし			
		(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由	この事務を行う根拠又は理由	生涯学習推進基本計画に基づき実施する	
		(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容	補助対象を地区単位ら、活動団体へ拡大する	
		(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充（意図の段階は正しいか）又は絞込み）はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容	より多くの活動団体への補助金を交付することで、生涯学習活動の推進を図ることが出来る	
		(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない	理由 又は 内容	理由 又は 内容	生涯学習活動を始めるきっかけが減少してしまう	
		(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない	理由 又は 内容	理由 又は 内容	生涯学習活動を実施する団体を発掘する	
		(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある ない	内容
		(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？（仕様や工法の変更、住民の協力など）	ある ない	理由 又は 内容	理由 又は 内容	内容	
		(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？（従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？）	ある ない	理由 又は 内容	理由 又は 内容	内容	
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要	理由 又は 内容	理由 又は 内容		
	受益者がいない	理由 又は 内容	理由 又は 内容	理由 又は 内容			

4 改革改善案（PLAN）	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持	
(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	<ul style="list-style-type: none"> 講座や講師などの情報提供し、生涯学習活動の一助とする。 新たに活動する団体等に、生涯学習活動の情報提供や補助金を交付し活動を推進していく。 						

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名 No. 570208 ふれあい交流館管理運営事業		主管課名 教育行政課												
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし		課長名 深谷 正浩										
		施策	生きがいを持って楽しく暮らせるまち												
		基本事業	生涯学習自主活動の拡大												
	(1)事業の概要														
	(仮称)図書館学習交流プラザが完成するまでの間、JAあいち豊田三好支店本館を借用し、中央公民館機能(文化・生涯学習活動の場)を維持する。 (27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)											
				<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>開館日数</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	開館日数	日					その指標	
	名 称	単 位													
	開館日数	日													
その指標															
幅広く一般住民の方に利用されている。開館時間9:00~21:00で、休館日は月曜日と12月28日から翌年1月4日で運営している。受付業務(8時30分から17時15分までと17時15分から21時15分までの2交代制で臨時職員2名を配置)を行い、利用者が快適で安心して利用できるように管理運営を図った															
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容	平成28年6月26日(日)まででふれあい交流館の貸館利用を終了し、機能を図書館学習交流プラザへ移行。												
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)												
市民			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		名 称	単 位	人口	人							
名 称	単 位														
人口	人														
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)												
来訪者、利用者に快適で安全に利用してもらう。			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>利用率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		名 称	単 位	利用率	%	利用者数	人					
名 称	単 位														
利用率	%														
利用者数	人														
(4)結果(上位基本事業の意図)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)												
自主的な生涯学習活動の推進を図る。			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>生涯学習に満足している人の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		名 称	単 位	生涯学習に満足している人の割合	%							
名 称	単 位														
生涯学習に満足している人の割合	%														
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標															
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値							
(5)の活動指標		日	306	308	75										
(6)の対象指標		人	59,885	60,365	60,710										
(7)の成果指標		%	54.9	53.2	55										
		人	51,298	50,612	13,000										
(8)の結果の成果指標		%	55.4	55.2	55.6										
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	10	項	05	目	03				
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値							
事業費(決算又は予算額)		単位	22,952	20,843	4,556	0	0	0							
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0							
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0							
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0							
	その他	千円	3,054	3,120	612	0	0	0							
	一般財源	千円	19,898	17,723	3,944	0	0	0							
人件費B		千円	11,942	10,052	2,511	0	0	0							
正職員従事時間×人数		時間×人	1,550 × 1	550 × 1	137 × 1	×	×	×							
正職員以外の人件費		千円	6,619	8,003	2,000										
その他費用C		千円	259	155	38										
トータルコストA+B+C		千円	35,153	31,050	7,105	0	0	0							
単位あたりコスト		千円/人	1	1	0										
(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/													

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	570208	ふれあい交流館管理運営事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	平成23年1月5日 から			特に課題・意見はない
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			
中央公民館閉館に伴い、図書館を含む(仮称)図書館学習交流プラザが完成するまでの間、JAあいち豊田三好支店本館を借用し、事業を開始。				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない		変化している		変化した内容

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	
			自治事務	→	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
					この事務を行う根拠又は理由	みよし市立ふれあい交流館及びみよし市立公民館の設置及び管理に市の生涯学習の拠点施設として必要である。
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由	
			結びつかない	→		
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容	
			できない	→		
					拡大	
					縮小	
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容	
	できない	→				
			追加			
			拡充			
			絞込み			
(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい		理由又は内容			
	多少影響がある	→				
	影響はない	→				
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	営利目的利用が可能であるため、周知徹底をすることにより、成果の向上を図る。		
1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できない	→				
(7)類似又は関連する事業はありませんか？また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある	→	類似事業との再編の可能性	ある		
	ない	→			ない	内容 (仮称)図書館学習交流プラザに統合
			庁内事業			
			庁外事業			
(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容			
	ない	→				
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容			
	ない	→				
(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容			
	ない	→				
					現状で適正	
			検討が必要			
			受益者がいない			

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	削減	事業費の方向性	減額	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	平成28年6月26日(日)まででふれあい交流館の貸館利用を終了し、機能を図書館学習交流プラザへ移行させ、利用者の利便性と利用率の向上を図ります。					

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現 状 (D O)	事務事業名 No. 570209 カリヨンハウス管理運営事業		主管課名 市民課								
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし		課長名 竹谷 富雄						
		施策	生きがいを持って楽しく暮らせるまち								
		基本事業	生涯学習自主活動の拡大								
	(1)事業の概要										
	カリヨンハウス設置条例に基づき「カリヨンハウス」を管理運営するものである。			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)							
				名 称	単 位						
				にぎわいプラザ利用件数	件						
				その指標							
	(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等) 10人の臨時的非常勤職員を午前・午後・夜間のローテーションで配置し、常時2人体制で、にぎわいプラザの貸館受付業務等及びカリヨンハウスの施設管理業務を行った。 設備機器の保守点検及び維持管理は、ビルメンテナンス会社に委託し、一括管理を行った。 屋上防水及びカリヨン(鐘)の改修を行った。										
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容	所管を協働推進課から市民情報サービスセンターへ変更する。 給水設備の改修を行う。								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)								
市民			名 称	単 位							
			人口	人							
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)								
安全かつ適切に維持管理を行う。			名 称	単 位							
			事故件数	件							
(4)結果(上位基本事業の意図)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)								
三好ヶ丘駅前のにぎわいを創出する。			名 称	単 位							
			利用者数	人							
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単 位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値			
(5)の活動指標		件	1,092	1,366	1,350	1,400	1,450	1,500			
(6)の対象指標		人	59,885	60,365	60,710	61,056	61,401	61,744			
(7)の成果指標		件	0	0	0	0	0	0			
(8)の結果の成果指標		人	16,191	20,919	21,000	21,200	21,400	21,600			
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	02	項	01	目	15
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単 位	42,554	24,365	35,260	25,560	25,560	25,560			
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0			
		県支出金	千円	0	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0	0			
		その他	千円	4,358	4,713	3,524	3,109	3,109	3,109	3,109	
		一般財源	千円	38,196	19,652	31,736	22,451	22,451	22,451	22,451	
人件費 B		千円	11,647	11,306	12,423	12,423	12,423	12,423			
正職員従事時間×人数		時間×人	250×3	300×2	225×4	225×4	225×4	225×4			
正職員以外の人件費		千円	9,071	9,071	9,071	9,071	9,071	9,071			
その他費用 C		千円									
トータルコストA+B+C		千円	54,201	35,671	47,683	37,983	37,983	37,983			
単位あたりコスト		千円/ 人	1	1	1	1	1	1			
(トータルコスト		千円/									
/(6)の対象指標)		千円/									

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 570209カリヨンハウス管理運営事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 平成25年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 都市再生機構から譲渡された建物を改装し、三好ヶ丘駅周辺のにぎわいを創出する施設として利用を開始した。	・サンネット、子育てふれあい広場、にぎわいプラザの利用人数を考慮すると駐車可能台数が少ないため、駐車場の拡充が必要である。 ・施設内の防犯対策として防犯カメラを設置し、サンネット事務室内で確認を行っているが、死角となる箇所や、施設出入口で未設置箇所があるため、施設利用者が安全・安心して利用できるよう防犯カメラの増設が必要である。
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している 変化している → 変化した内容	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 → 自治事務 →	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	みよし市カリヨンハウス設置条例 三好ヶ丘駅前を活性化し、にぎわいの創出を図るとともに、市民等による活動及び交流の拠点とするため。
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく → 結びつかない →	理由	
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 → できない → 縮小 →	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 → できない → 拡充 → 絞込み →	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい → 多少影響がある → 影響はない →	理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない →	理由又は内容	事故は起こっておらず、現在の成果を維持していく。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある → 庁内事業 → ない → 庁外事業 →	類似事業名 類似事業との再編の可能性	明越会館、三好ヶ丘交流センター、ふれあい交流館 ある → 内容 ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない →	内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない →	内容	
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 → ない → 検討が必要 → 受益者がいない →	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	削減	事業費の方向性	減額	成果の方向性	維持

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 570301	シルバー人材センター補助事業				主管課名	長寿介護課				
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	岡田 高行				
		施策	生きがいを持って楽しく暮らせるまち									
		基本事業	社団法人シルバー人材センターへの支援									
	(1)事業の概要											
	「自主、自立」「共働、共助」の理念に基づき、豊かな経験と技術を持つ高齢者に対し、安全で働きやすい就業の場を提供することにより、健康や生活の維持を図ることを目的とし、シルバー人材センターが行う組織の強化、会員の拡大及び就業機会の開拓など高齢者の生きがい事業に対し、補助金を交付している。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
							名 称		単 位			
							シルバー人材センター数		か所			
							その指標					
	(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		シルバー人材センターが行う組織の強化、会員の拡大及び就業機会の開拓、広報活動の強化、会員の研修と福利事業、安全就業の推進など、及びその他、高齢者の生きがい事業を補助事業として、補助金を交付した。									
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容										
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
シルバー人材センターの会員						名 称		単 位				
						シルバー人材センター会員数		人				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
シルバー人材センターの運営が適正になされる						名 称		単 位				
						シルバー人材センター受注事業所件数		件				
						会員の就業率		%				
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
生きがいのある充実した生活を送ってもらう						名 称		単 位				
						シルバー人材センター会員の延就業人数		人				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
(5)の活動指標		か所	1	1	1	1	1	1				
(6)の対象指標		人	334	358	372	389	400	411				
(7)の成果指標		件	2,036	2,064	2,092	2,121	2,150	2,179				
		%	89	89	89	89	89	89				
(8)の結果の成果指標		人	44,800	45,427	46,062	46,706	47,359	48,021				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	01	目	06
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	39,370	47,279	48,510	49,035	49,706	49,786				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	39,370	47,279	48,510	49,035	49,706	49,786				
人件費 B		千円	172	745	745	745	745	745				
正職員従事時間×人数		時間×人	50 × 1	200 × 1	200 × 1	200 × 1	200 × 1	200 × 1				
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0				
その他費用 C		千円	24	0	0	0	0	0				
トータルコスト A+B+C		千円	39,566	48,024	49,255	49,780	50,451	50,531				
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/人	118	134	132	128	126	123				

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 570301	シルバー人材センター補助事業			
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？	昭和63年		から	
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？	シルバー人材センターの発足			
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	変化していない	変化している	経済状況が不安定	
		(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？			
		みよし市シルバー人材センターは、平成24年度に「公益社団法人」の認可を受け、請負事業だけでなく派遣事業も実施し民間企業と競争運営が予測されることが課題。 退職年齢の60歳から65歳への延長、近年の不況等により、会員の拡大及び就業機会の開拓が難しい状況にある。			

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
		自治事務	→	根拠法令	公益社団法人みよし市シルバー人材センター補助金交付要綱
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由	この事務を行う根拠又は理由
		結びつかない	→		豊かな経験と技術を持つ高齢者の安全で働きやすい就業の機会の確保と提供をし、健やかで生きいきとした老後の生活の維持
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容	拡大
		できない	→		縮小
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容	追加
		できない	→		拡充
			→		絞込み
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい		理由又は内容	
	多少影響がある	→			
	影響はない	→			
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	適正な法人運営がされているため。	
	できない	→			
(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある	→	類似事業名		
	ない	→	類似事業との再編の可能性	ある → 内容	
		→		ない	
(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容		
	ない	→			
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容		
	ない	→			
(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容	現状で適正	
	ない	→		検討が必要	
		→		受益者がいない	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど						

平成28 年度（ 27 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 28 年 10 月 31 日

1 事務事業 の 現 状 (D O)	事務事業名	No. 570302	高齢者生きがいセンター運営管理事業				主管課名	長寿介護課		
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	岡田 高行		
		施策	生きがいを持って楽しく暮らせるまち							
		基本事業	社団法人シルバー人材センターへの支援							
	(1)事業の概要									
	指定管理制度の導入に伴い、みよし市高齢者生きがいセンター「太陽の家」の指定管理者は、公益社団法人みよし市シルバー人材センターが選定され、基本協定、年度協定を締結した。この協定に基づき、運営管理されている。 指定管理期間 平成26年4月1日から平成31年3月31日まで 5年間。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) …数値は(9)			
							名 称		単 位	
							生きがいセンター利用者		人	
							その指標			
	(27年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		生きがいセンター「太陽の家」の施設管理を指定管理者である社団法人みよし市シルバー人材センターが運営管理した。							
28年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容	平成26年4月1日以降の指定管理者を決定する。							
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) …数値は(9)				
生きがいセンター「太陽の家」						名 称		単 位		
						生きがいセンター「太陽の家」設置数		か所		
						その指標				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) …数値は(9)				
生きがいセンターの運営が適正になされる						名 称		単 位		
						生きがいセンターの運営に関する苦情数		件		
						その指標				
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) …数値は(9)				
生きがいのある充実した生活を送ってもらう						名 称		単 位		
						高齢者生きがいセンター利用者数		人		
						その指標				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標										
指標	年度	単位	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値		
(5)の活動指標		人	4,859	4,161	4,327	4,500	4,680	4,867		
(6)の対象指標		か所	3	3	3	3	3	3		
(7)の成果指標		件	0	0	0	0	0	0		
(8)の結果の成果指標		人	4,859	4,161	4,327	4,500	4,680	4,867		
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	01 目 06
(11)コスト		年度	26年度実績値	27年度実績値	28年度計画値	29年度目標値	30年度目標値	31年度目標値		
事業費(決算又は予算額)		単位	4,619	6,031	5,867	12,992	6,640	5,992		
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0		
		その他	千円	74	76	70	65	65	65	
		一般財源	千円	4,545	5,955	5,797	12,927	6,575	5,927	
人件費B		千円	413	1,378	1,378	1,378	1,378	1,378		
正職員従事時間×人数		時間×人	120 × 1	185 × 2	185 × 2	185 × 2	185 × 2	185 × 2		
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0		
その他費用C		千円	114	0	0	0	0	0		
トータルコストA+B+C		千円	5,146	7,409	7,245	14,370	8,018	7,370		
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/ か所	1,715	2,470	2,415	4,790	2,673	2,457		

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 570302 高齢者生きがいセンター運営管理事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 平成16年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ 施設の老朽化に伴い、施設、設備の修繕が必要となっていくことが課題。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ シルバー人材センターへの補助対象経費だったが、運営管理費を委託費と改めたため	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	みよし市高齢者生きがいセンター「太陽の家」の設置及び管理条例 高齢者に健康で生きいきと活動する場を提供するとともに、地域住民との交流、健康保持のための保健指導を推進するため		
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由			
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由 又は 内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由 又は 内容	指定管理施設として適正に管理されているため。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある ない	内容
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない		内容		
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要 受益者がいない	内容		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	増加	事業費の方向性	増額	成果の方向性	維持